

# 南愛知タウンサービス株式会社

－勤務日数のワークシェアリング活用事例－

## <会社概要>

本 社 愛知県半田市  
創 業 1987年（昭和62年）  
従業員数 約230名  
事業内容 自動販売機リニューアル事業、食品事業、スポーツ事業

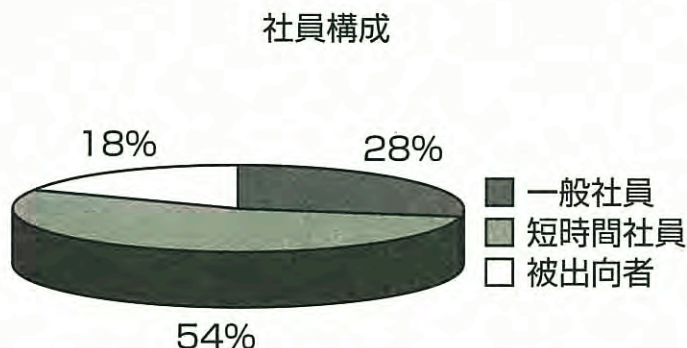
## 1. 会社概要

南愛知タウンサービス株式会社は、愛知県半田市に本社を置き従業員は約230名、JFEグループの関連企業として1987年（昭和62年）に関係親会社からの出向者を中心に創設され、幾多の変遷の後現在に至り、次の事業を行っている。

- (1) 自動販売機の整備・分解組立・塗装等を行う自動販売機リニューアル事業
- (2) 日替わり弁当・工場給食・仕出料理・各種パーティ料理を行う食品事業
- (3) プール・トレーニングジム等スポーツクラブを運営するスポーツ事業

## 2. 雇用の概況

従業員の構成および人員数は次の通りである。



構成	人員数
一般社員	66
短時間社員	126
被出向者	42
計	234

平成19年8月1日現在

年齢構成は、比較的高齢者が多く、50歳から59歳の年齢帯比率が約34%と高く、極めて近い将来60歳定年を迎える社員が多いことを示している。

### 3. 制度導入の背景と制度の紹介

#### (1) 制度導入の背景

同社は食品事業部・スポーツ事業のように時間帯による繁閑差の大きいサービス業務から自販機リニューアル事業のように、生産ラインを有する連続作業要素を持つ業種が企業内に混在している。食品事業・スポーツ事業は、繁忙時間帯のみの短時間勤務者の導入によって業務の繁閑差を緩和することができるが、自販機リニューアル事業では、勤務の連続性が必要条件となりフルタイム勤務の就労が求められた。また、この職場では比較的高い能力、技術、経験が必要で、設立当初からの出向者も多く高齢化が進んでいた。

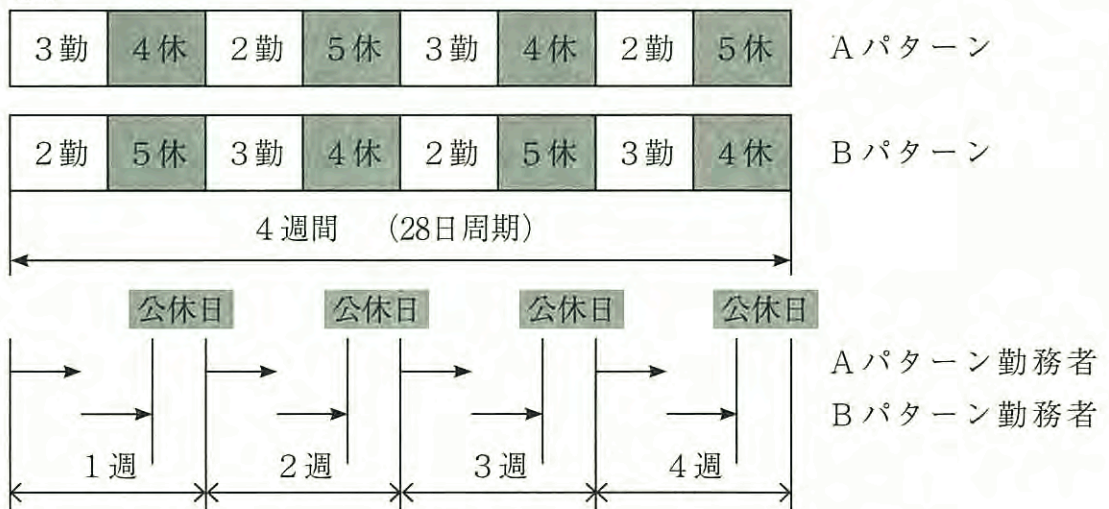
しかし、労働者の総収入は在職年金を併用し高年齢雇用継続給付を含めれば、4分の3未満の短時間勤務者がフルタイム勤務者に比べ有利感があり、多くの高齢者が4分の3未満の勤務を希望する結果となっていた。

#### (2) 制度の紹介

平成15年から高齢短時間勤務希望者の吸収方法として、次の2通りのワークシェアリングによる勤務体系を実施し、多様化する高齢者の就業形態、増加する短時間勤務希望者に対して「安定的な高齢者雇用の促進」の雇用対策の一環とした。

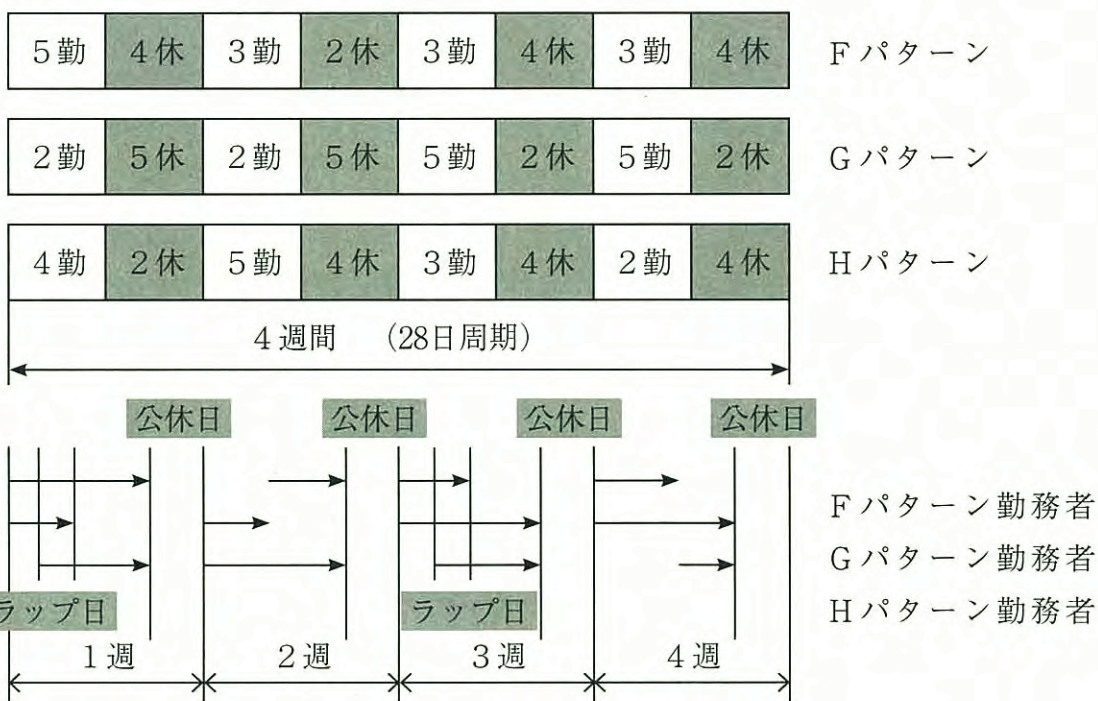
##### ①50%勤務2人制の基本的パターン

70%勤務と同様に50%で10日を勤務し次の勤務体系を基本パターンとする。



##### ②70%勤務、3人で2人工とする基本的な就業形態

4週間の稼働日数を20日とし、この勤務者は週間で部分的な連続勤務をして稼働日数の70%で14日を勤務するもので、基本勤務体系は次のとおりである。



#### 4. 高齢者雇用の実態

同社は、「60歳一律定年、労使協定の選定基準による65歳までの継続雇用制度」を導入しているが、65歳以上についても会社の認める者という条件で、希望者は引き続き再雇用をしている。現時点（平成19年6月）では、55歳以上の従業員比率は約45%、60歳以上も約30%となっている。



自販機を分解する高齢短時間勤務者



自販機の検査をする女性短時間勤務者

## 5. 今後の課題

この制度を導入した現在（導入から4年後）では、現場における混乱・違和感はなく、むしろ安定した状況であると同時に、生産性についても能率の低下はない。また、60歳以上の雇用率も導入当時（平成15年4月）から、約9%程度向上し、将来、経験・能力を持った継続雇用者が多くなることを想定すれば、大きな雇用を生むと同時に、短時間勤務を希望する高齢者にとって明るい情報となっている。

課題としては、これまでも制度を導入した職場間の融通性を上げるために、一般社員の多能工化を進めてきたが、特殊勤務体制をよりスムーズに、また適用職場を広げるためにも、高齢者本人のみならず、周りの一般社員の多能工化を行う必要があると考えている。

※南愛知タウンサービス(株)は、平成14年度より3ヵ年就業形態開発支援事業のモデル企業である。